

## 目 次

『決定の正当化技術——日仏都市計画における参加形態と基底価値——』

はじめに

## 第 I 部 決定の「正当化技術」を解明する意味 ..... I

- 1 本研究の問題関心
  - 政府はなぜ、どのように決定を正当化するか—— I
  - 1-1 本研究の目的と課題 I
  - 1-2 本研究の核心的な問い 7
  - 1-3 政府の決定の正当化を研究する意義 8
- 2 研究の枠組み
  - 正当化理由、正当化の論拠、正当化技術—— II
  - 2-1 「正当化理由の決定」の設定 II
  - 2-2 正当化の論拠としての「合法性」と「合理性」 15
  - 2-3 正当化技術 17
  - 2-4 多元的な参加と参加形態 19
  - 2-5 権利利益に関する基底価値 23
- 3 研究の方法
  - 時期の決定、理由の源泉、理由の選択、因果関係—— 24
  - 3-1 研究の課題と問い 24
  - 3-2 研究の方法 25
- 4 研究の素材と対象
  - 日仏都市計画という素材に着目する理由—— 30
  - 4-1 研究の素材と対象 30
  - 4-2 検討対象となる過程 32
  - 4-3 分析の具体的素材 33
  - 4-4 分析の具体的対象 35

5	先行研究——これまでの研究と本研究の意義——	36
5-1	政治哲学、政治思想から見た本研究の視座	37
5-2	政策過程論における本研究の位置付け	38
5-3	正統性に着目する本研究の特徴	41
5-4	民主主義理論に対する本研究の意味	43
5-5	地方自治研究の系譜と本研究の意義	45
5-6	都市計画学における本研究の有用性	47

## 第Ⅱ部 日仏の都市計画法制と即地的詳細計画 ..... 51

1	日本の都市計画法と地区計画	52
1-1	日本の都市計画法の基本構造	52
1-2	日本の都市計画法と地区計画の位置付け	56
1-3	地区計画の特徴	58
1-4	地区計画策定手続	61
2	フランスの都市計画法と PLU	65
2-1	フランスの都市計画法の基本構造	65
2-2	フランスの都市計画法と PLU の位置付け	73
2-3	PLU の特徴と OAP	76
2-4	PLU の策定手続	79
3	小 括	84
3-1	本研究の素材としての日仏の即地的詳細計画	84
3-2	日仏の即地的詳細計画と参加形態・基底価値	85
3-3	まとめ	86

## 第Ⅲ部 立法過程における正当化技術——実証研究その1—— ..... 89

1	日本の地区計画策定手続の立法過程	89
1-1	本章の対象と構成	89
1-2	地区計画創設の立法過程とアクター	91
1-3	地区計画立法過程の検討	95
1-4	小 括	118

2	フランスのコンサルタシオン創設の立法過程	128
2-1	本章の対象と構成	128
2-2	フランスの立法過程とコンサルタシオン立法過程時のアクター	130
2-3	コンサルタシオンの立法過程の検討	135
2-4	小括	148

## 第Ⅳ部 執行過程における正当化技術——実証研究その2——

	.....	155
1	日本の地区計画策定手続の執行過程	155
1-1	本章の対象と構成	155
1-2	地区計画策定手続の執行過程とアクター	158
1-3	地区計画策定手続運用の全国的傾向	161
1-4	検討素材——千葉県浦安市——	167
1-5	「参画」事例としての日の出・明海及び高洲地区の分析	170
1-6	「自治」事例としてのコモンシティ浦安地区の分析	178
1-7	小括	189
2	フランスの PLU 策定手続の執行過程	200
2-1	本章の対象と構成	200
2-2	PLU 策定手続の執行過程とアクター	202
2-3	PLU 運用・計画策定の全国的傾向	204
2-4	検討素材——トゥールーズ・メトロポール——	215
2-5	「参画」事例としてのトゥールーズ・メトロポールの分析	217
2-6	小括	249

## 第Ⅴ部 決定の「正当化技術」の解明——研究のまとめ——

	.....	265
1	本研究で検討した内容	265
2	前提の確認	266
3	正当化技術の解明	267
3-1	when (時期の特定)	267
3-2	who (理由の源泉)	269
3-3	what (理由の選択)	270

3-4	how (正当化技術)	271
4	正当化のメカニズム	273
4-1	参加形態が及ぼす影響	274
4-2	基底価値が及ぼす影響	276
4-3	正当化技術と合法性・合理性	280
4-4	参加形態・基底価値の相違による日仏の違い	281
5	立法過程・執行過程の異同と関係	282
5-1	立法過程と執行過程の異同	282
5-2	立法過程と執行過程の相互関係	283
6	本研究で得られた知見とその意義	285
6-1	正当化理由の決定における正当化技術の解明	285
6-2	正当化メカニズムの解明	287
6-3	立法過程と執行過程の異同と関係	290
7	残された課題	291

参考文献

初出論文一覧

索引

あとがき